

②ご本人・事業所・住民から寄せられたコロナウイルスに関する自粛要請についての声

エリア	聞き取り内容
北十勝	<p>【ご本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業就労されている方より仕事の減少に伴い収入が減ったとの相談が数件あり、社会福祉協議会にて対応。 →生活苦の相談が4月から6月1日までに7件あり、内4件が緊急小口資金の申請。 ○障がい福祉サービスを利用する本人(家族)より、利用時間短縮による物足りなさ・半日利用による家族の就業制限、求職活動の一時停止・休校や休園に伴う育児負担・経済負担増。 ○町内公共施設の施設外就労先が主な活動場所としていた方が工賃減少をしたとの声。 <p>【事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○密を避けるため時差通所・在宅勤務等の対応を取ったことにより、工賃収入に影響を受け、減収分の補填制度の創設を求める要望。 →要望を受け、町内事業所に対し、消毒液やマスクの配布・給付等を検討(京都市の施策を参考に、工賃減収に対する補正予算の制度創設を考えている)。 ○作業量減少や内容変更に伴う工賃減少・面会制限により精神科退院調整に制限・ケア会議の開催に制限等の状況について。 <p>【住民・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障がい福祉サービス事業所への通所が1日のルーティンになっている方が、自粛により居場所が奪われてしまうのではと懸念している。 ○社会福祉協議会の窓口へ緊急小口資金の受給に関する相談が数件あった。障がいをお持ちの方への直接的な影響までは現在把握しきれていない(保健師や発達支援センターに繋がる相談の中で、今後動きが出てくる事例もあるかもしれない)。 ○障がい福祉サービス事業所は自粛要請の対象にはならず、利用者や事業所から直接福祉係に寄せられる声はあまり多くなかった。
西十勝	<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者ご本人から、一部の町内障がい福祉サービス事業所にて、作業内容の関係で作業活動が減少している状況について話を伺った。 →直接、事業所からの相談等はない。 <p>【事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談支援事業所より、緊急事態宣言期間中のモニタリング等の方法について問い合わせ。 ○障がい福祉サービス事業所より、休業期間中に行う支援内容の報告及び請求に関する問い合わせ。 →上記の内容については、道の通知文に基づき対応。 ○町外の障がい福祉サービスを利用している事業所のスタッフより、在宅支援の申し出・相談。 →在宅支援の対応について、通知の様式に沿い対応(詳細は役場内での聞き取りを実施)。 <p>【住民・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保健福祉センター内の健康増進施設や福祉館の再開日について検討。

<p style="text-align: center;">東北十勝</p>	<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○困り感等の声は聞こえていないが、学校の休校をきっかけに家庭に事情のある児童が事業所の通所を開始したケースが2件上がった。 ○障がい福祉サービス利用者で在宅支援に切り替わった方に対し、自宅等へ訪問し状況把握を実施。 <p>【事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者の在宅支援への対応についての相談(※基礎疾患があり現在も在宅支援が継続中の方もいる)。 →コロナウイルスへの事業所での対応方法について、指針を提示するよう求められた。
<p style="text-align: center;">東十勝</p>	<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内の障がい福祉サービス事業所の休業なし。他市町村の時間短縮の状況等を一部把握。 →家族との話し合いで自宅待機を希望される方がいたが、直接事業所からの声はない。 ○通所や通勤等でJRを利用することに対し、障がい福祉サービスを利用するご本人の家族より不安の声。 ○在宅生活をされている障がいをお持ちの方は、感染症予防対策のもとで通常通りに通所していた。 ○介護施設で就労している障がいをお持ちの方から、勤務日数が減少したとの声。 ○障がい福祉サービス事業所の販売活動が行えなくなり、工賃収入が減少したとの声。 →町で25,000枚分のマスクの材料費を負担し、町内事業所の作業活動に充てた(地方創生臨時交付金を活用)。結果工賃収入となり、事業所支援に。 <p>【事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉協議会ボランティア事業で運営している飲食店が休業したが、営利目的ではないため影響は少なかった。 <p>【住民・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナの影響に応じ『生活相談窓口』を福祉課にて開設。 →「勤務先を解雇された」「自営を始めるも著しい減収」「解雇まではならないが休業」等の声が寄せられた。 ○社会福祉協議会に対し、多数の相談・申請あり(緊急小口資金・総合支援資金特例貸付等)。 ○町民よりマスクの入手困難な声があり、マスクを各世帯〔高齢者50枚、単身者30枚〕に配布。(※地方創生臨時交付金を活用。5月13日からの取組み)。 ○他事業所や市町村の情報が入らず、町独自で対策している内容が適当なのか悩ましい部分がある。 →町内に就労系障がい福祉サービス事業所がなく、サービスを利用している方への対応等について情報収集や発信をもう少し速やかに出来れば良いと感じている。
<p style="text-align: center;">南十勝</p>	<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「障がい福祉サービスの利用数が半数になった」「外に出られる回数を増やしたい」との声。 ○障がい福祉サービス利用者よりマスクが入手困難な声上がり、不織布マスクの支給、布マスク作成や入手方法の情報提供を行う。 <p>【事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障がい福祉サービス事業所より、コロナウイルス感染予防対策について相談あり。 <p>【住民・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校はコロナウイルスが流行前にインフルエンザの流行があったため、そこから長らくの自粛をしていた。 ○庁舎内で障がい福祉サービス事業所の販売活動が行われ、人が集まっていたことに対し指摘を受けた。 →状況を整理し、事業所と相談の上、現在対応をしている。(7月より徐々に活動を再開させる)